

会 議 録

会 議 名	平成22年度第6回社会教育委員の会議 (平成22年度第1回三者合同会議)		
事 務 局	生涯学習部生涯学習課		
開 催 日 時	平成22年11月17日(水) 午前9時30分から午前11時30分		
開 催 場 所	小金井市役所第二庁舎8階801会議室		
出 席 委 員	<p>Aグループ 大橋(公) 伊藤(社) 道城(公) 山田(公) 岡(関) 吉池(社)</p> <p>Bグループ 浦野(関) 神島(公) 熊谷(公) 藤井(公) 新井(関) 樹(社) 小林(社)</p> <p>Cグループ 本川(社) 神田(公) 佐野(公) 菅家(関) 村谷(関) 本多(社) 中村(社)</p> <p>(社)：社会教育委員 (公)：公民館運営審議会委員 (関)：図書館協議会委員</p>		
欠 席 委 員	田尻(社) 倉持(社) 松尾(関) 渡辺(関) 矢崎(関) 山口(関) 荒井(関) 佐々木(公) 小島(公)		
事 務 局 員	渡辺生涯学習部長 千賀生涯学習課スポーツ振興係係長 上石関 書館奉仕係主査 山崎公民館庶務係係長 渡辺公民館事業係係長 林生涯学習課生涯学習係主事		
傍 聴 の 可 否	可	傍聴者数	0人
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会 議 次 第	<p>(1) 生涯学習部の業務概要 (2) 概要説明 (3) グループ討議 (4) 各グループによる発表 (5) 意見・要望・感想等 (6) その他・次回の日程調整など</p>		

## 会 議 結 果

### (1) 生涯学習部の業務概要

本川議長

三者合同会議開始する。代表者が集まって打ち合わせ会をした折に、生涯学習部の業務内容を説明してほしいというご要望があった。それを部長にお願いしているので、会議の開催に先立って、部長から話をお願いしたいと思う。では、よろしく願います。

渡辺部長

おはよう。本日はお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。生涯学習部の組織と業務について説明してほしいという依頼があったので、簡単に説明させていただきます。

大変申しわけないが、本日10時から行財政改革特別委員会が入っていて、そちらに出席するので15分程度しかお話しできないということをまずご了解いただきたいと思います。

それでは、早速、資料に基づいてご説明をさせていただきますと思う。生涯学習部組織表という資料がお手元にいつていると思うが、まず、生涯学習課は、現在は、生涯学習課長とスポーツ振興担当課長と2人の課長がいる。このようになったのは平成21年4月1日、指定管理者導入に伴って組織変更を行ったためである。

施設については、それぞれ、図のようになっているのでごらんいただきたいと思う。

図書館については、現在は本館と分室が2つ、西之台の図書室と移動図書館、こういう施設になっている。

公民館については、公民館長のもと、全部で5館という形になっている。

生涯学習部の業務については、すべてを説明すると、1時間では終わらないので、簡単に説明をさせていただきます。お手元に「小金井の教育平成20年版」という冊子をご用意した。

この冊子は、前半のほうは学校教育関係が入っているが、中盤以降、生涯学習部について記載されている。ページは44ページ以降になる。

この資料は平成20年版ということで古いが、来年の3月までに新しい版ができる予定となっているので、古い資料になって申しわけないが、お手元に用意したので、詳細についてはこちらをごらんいただければと思う。今回、お渡しした資料は大変残部数が少なく、もし既にお持ちだということであれば、今日申し出ていただいて、帰りに係員に渡していただければと思う。

それでは、生涯学習部の新規事業について簡単にご説明をさせていただきますと思う。まず、生涯学習課である。清里山荘の平日利用の拡大を図るために、小金井発着で一泊するシャトルバスの運行を今年度から始めている。今年度4回企画をして、後半には予定募集人員を満たす状況ということで、これからの広がりが期待されている。

この事業の特徴は、高齢者の方が自動車で清里までなかなか行けない、電車で行くのも大変という声を受けて、できれば小金井からバスに乗り、小金井にバスで着くというふうな企画はどうかという議会からの提案もあって実施をしているところである。

三鷹にある中近東文化センターと連携をして、中近東歴史文化講座を3回講座セットにして2回、東中学校の団体見学などを3回ほど企画した。東中学校のほうでは出張展示も予定している。これが新たな事業になっている。

文化財係では、今年度から平成30年度の9年間にわたり、新たな市史の編さんを開始した。平成25年の市制55周年にあわせて、資料編2編の刊行をする予定である。最終年の平成30年、この年はちょうど市制60周年に当たるが、このときに通史2巻の刊行を予定している。大変大きな計画であるが新たな市史を編さんしている。

名勝小金井（サクラ）復活事業、この事業は今年度から開始をした。東京都の計画で、10年間で小金井橋の上下6キロメートルを東京都が整備をする。平成22年度はモデル区間640メートルのうち、小金井公園の正門前から下流150メートルについて整備をされる予定になっている。

スポーツ振興係は、平成25年に第68回東京多摩国体が開催される。小金井市ではバスケットボールと弓道を開催する。バスケットボール会場は総合体育館、弓道は小金井公園弓道場で開催される。

その前年にプレ大会が平成24年に開催される予定になっている。これにあわせて、大体育室の床の張りかえ工事などを、平成23年度に予定をしている。

公民館、図書館については、(仮称)貫井北町地域センター建設基本設計を今年度から始め、平成26年4月の開館に向けて作業を開始している。この施設は、緑センター以降、約20年ぶりの施設ということになる。

市全体としては、小金井市長期総合計画第4次基本構想・前期基本計画、現在議会のほうで討議をされている。この第4次基本構想・前期基本計画で小金井市中期財政計画案が示されている。この計画は平成23年から平成27年の5年間の財政的な計画になる。主に工事関係の事業費の計画書であるが、生涯学習部関係では総額17億200万円予定をされている。これは第4次計画であるが、前期の第3次計画の後期計画の平成18年から22年度の生涯学習関係の事業費は1億5,200万円であるので、現在計画されている計画はそれに比べると、約1.1倍になっているということになる。主には施設関係の改修、改造、改築、耐震化になる。

以上、雑駁であるが、生涯学習部の新規事業ということでご説明させていただいた。ご質問があればお受けしたいと思う。

本川議長

ありがとうございます。何かご質問あるか。特に今はないようなら、聞きたいことがあったら事務局のほうに申し出て欲しい。

本川議長 申しおくれたが、今回は社会教育委員の会議の担当ということで、司会をさせていただく。議長の本川である。これから2時間よろしく願います。まず、資料確認から願います。

事務局（林） では、配布物を確認したいと思う。一番上に置いてあるのが「三者合同会議」と書いてある次第である。その下にグループ割表。さらに、その下に、小金井市図書館運営方針。さらにその下に、小金井市公民館基本方針というものがある。この基本方針の2つについては、代表者会議の中でこういうものも討議の資料にあったほうがいだろうということを出したものである。その次が、前回の三者懇談会の会議録である。大変遅くなって申しわけないが、中身をご確認いただくようお願いする。そのさらに下に、三者合同会議代表者打ち合わせの報告になっておる。今回のテーマが決まった流れとか、どういう形でやるのかについても簡単に書かれているので、お目通しいただくようお願いする。

その下、最後に、A4横書きのものが生涯学習部組織表、今、説明で使った資料になる。そのほか、部長からも説明があったので重なってしまうが、「小金井市の教育」が冊子として置いてある。もし持っているという方は、残部が少ないということなので、ご不要な方は最後置いていただくようお願いする。配付物の確認は以上である。

本川議長 何か不足のものがあるか。あったら事務局のほうにお申し出いただけるようお願いする。

事務局（林） 1点、訂正させていただく。生涯学習部の組織表の中に誤りがあった。「図書館」、その下に「図書館長」とあって、2係あるけれども、こちらが、「管理係」、「奉仕係」となっているが、正しくは管理係ではなく、「庶務係」、「奉仕係」となっている。

本川議長 それでは、お手元の資料、ご訂正願います。  
今日の全体の流れについて簡単にご説明させていただきたく。「三者合同会議代表者打ち合わせ」という資料をお手元にお出しただけか。おおよそそこに書いてあるが、10月28日に市役所において、公運審の大橋委員長と図書館協議会の浦野副会長、私と事前の打ち合わせをさせていただいた。前回との大きな違いは、前は懇談会だったが今回は正式な会議ということである。したがって、名称も「三者合同会議」とさせていただいた。

テーマについては、そこに書いてあるが「生涯学習推進のための地域のネットワークづくり」とするというのを合意している。人と人とのつながりである人的ネットワーク、生涯学習情報のネットワークを構築するためには、どうしたらよいかを、この場でより具体的に話し合っていたきたいというように設定している。

時間配分については、打ち合わせの段階ではもうちょっと長い時間であったが、少し短縮させていただいて、そこに書いてあるとおり、グループ討議を自己紹介も含めて10時50分ぐらいまでとする。

グループでの中のまとめを20分ぐらいかけて11時10分までに終

わらせたい。そして、15分間、意見、要望、感想などを発言していただき、次回の打ち合わせをするという予定にさせていただこうということである。グループ討議に先立ち、進行役と発表者をそれぞれのグループでお決めいただきたいと思う。どなたということはないので、互選で結構である。

今日のグループ討議の発表を聞いた段階で、いろいろ伺いたいと思うので、積極的にご発表いただけるようお願いしたいと思う。では、早速にグループの討議を始めていただければ。1時間とれるので、よろしく願います。最初の口切りは、そちらは公運審の大橋さん、真ん中は浦野さん、ここは、私が決めるかをさせていただければなと思う。それでは、よろしく願います。

(3) グループ討議 (省略)

(4) 各グループによる発表

本川議長

それでは、17分ほど超過してしまいました。済まない。それだけ熱が入った、いい話し合いだったのではないかと考えている。Aグループから、話し合いの結果をまとめてお話しいただければと思う。

伊藤委員

議論が伯仲したがまとめて報告する。我々のグループで話し合ったのは、まず、いろいろな情報という言葉が出てくるが、今ここで取り上げる情報とはどういうことなのかということをもとに集約させました。

1つは、人的情報としては、学校教育などを支援する、あるいはそういった教育コーディネーターの情報。もう1つ人的情報には、自分たちでこういう話を聞きたいが、それにふさわしいような話をしてくださる講師の方、あるいはこういうスポーツをやりたいが、それを指導してくださる適切な方はいないのかなというような、そういった講師情報といいたいでしょうか、そういったもの。この2つに集約できると。情報というのは各団体の活動内容を網羅した情報ですね。だから、情報というのは、我々としては活動団体の内容を網羅した情報が1つと、あと人的情報と、この2つあります。

その情報を、今は、それぞれ情報をお持ちなのですが、その情報がホームページを開けばわかるとはおっしゃいますけど、我々が知りたい情報はホームページに書いてあるような情報では物足りないわけですよ。今言ったように、活動内容、人的な内容ということまでは網羅されていませんので、そこまでもうちょっと突っ込んだ情報が必要であると。すると当然、その情報を集約するためには、それにふさわしいものの場所と、情報ですから一方通行ではない、ワンウエーではないですね。ツーウエーでなければいけない。そのためには、相談員の方がその場におる。コンピュータでもある程度は情報として答えてくれますけど、でも、もうちょっと一歩突っ込んで相談員の方がおる、そういう場所をイメージしております。

それでそういった情報を集約化して場所を置くとすると、一体だれがそうやるのかと。仕掛け人はだれなのかということですね。申しわけありませんが、仕掛け人をだれにするかということまでは、ちょっと今回

は時間の関係で話は出ませんでした。仕掛け人というか、そのセンター機能を持った場所につくり上げるためには、皆さんよくご存じの、例の5W1Hですね。いつまでに、だれが、幾らの費用を使って、どのような内容でまとめるのかということですね。それが次の課題になっていくかと思えます。  
以上でございます。

本川議長

それではBグループ、お願いします。

浦野委員

Bグループでは、それぞれが各自の活動を通じた中でのネットワークが、どういうふうに自分の身近で実現されているかを通して、これから目指していくような観点で話し合いをした。

児童館で40年近く子どもたちとかかわっている方の中からは、例えば、朗読の会と、そこが必要として、手話の会と一緒に、子ども劇場等を開催しているという話を聞いて、やはり必要性のあるところからネットワークができてくるということと、また市民の側の要望のあるところからネットワークがつくられているのではないかというような話があった。

また、商工会では、17商店街が全部ネットワークされているという、すばらしいネットワークの1つの形ができ上がっているのであるが、その各商店街を盛り上げていくとともに、また商工会としてのイベントを実施しているという、その中で市民とのコミュニケーションもとれていると聞き、やはり必要性がある、また必然性があるというところにネットワークができているという1つの形があると思う。

市民が多く情報を得ていくという意味で、市報というのはとても大事な役割を担っているのではないかというお話も出たが、市報の字が小さくて読みづらいとか、情報が伝わりにくいとか、自分の探している情報というようなものが載っていないというような、情報を得にくいのではないか、その情報が得られないことによって、市民がさまざまな催しをやっていても参加できないのではないかという意見も出た。

また、今、公民館、図書館、社会教育委員という三者で話し合いを行っているわけであるが、その三者から漏れていく団体とか、また、全くさまざまな活動、生涯学習というものにかかわっていない多くの市民をどうやって取り入れていくのかという中で、生涯学習に関しての要望を聞いていく、何かそういうものが大事なのではないかということで、図書館フォーラムが大盛況で終わったという事例を挙げられて、三者懇から発信をしていくという意味で、生涯学習に関する市民の声を聞くフォーラム等を開催してはどうかという意見が出た。

いずれにしても、いつまでに、例えば、このような形をつくっていくのか、先ほどAグループからも、情報のさまざまなネットワークづくりというお話があったが、いつまでにこれをやっていくのか1つのゴールを決めてやっていかなければ達成していかないと、さまざまな生涯学習に関する議論を、この三者懇の中だけでやっていくのでは、ほんとうに生涯学習が必要な、必要とさせていただきながら、市民の方々には広がっていかないのではないかという話もあった。

さまざまな団体では、完成しているネットワークが、先ほどの商工会

のようなネットワークはあるが、そのネットワークをさらに市民単位で1つにまとめていくために、今動いている市民協働支援センター準備室とのかかわりとか、そこと協力をしながら、何かほんとうに1つの情報発信基地みたいなものをつくっていくことが大事ではないかと思った。

本川議長

ありがとう。  
それでは、Cグループ、お願いします。

神田委員

はい。では、Cグループの発表をする。

社会教育という広い範疇の中に、公民館と図書館が今箱物としてはあるわけだが、まず公民館同士の情報のネットワーク、図書館同士のネットワーク、公民館と図書館をつなぐネットワークがさらに強くなって太くなればいいのではないかという話から始まった。

市民が求めている情報は、まず公民館でどんなイベントが行われているかということ、どこの公民館に行っても、いろんな、よその公民館のお話もわかるように今なっているわけであるが、さらにもっと見やすい、情報を得やすい方策はないか。図書館でも、蔵書の検索などはできるが、さらに見やすい、情報の得やすい方法。さらには、公民館に行っても図書館の情報を調べる、図書館に行っても公民館の情報を調べることが、もっとできたらいいのではないかということである。さらに見やすくなるためには、パソコンの台数も増やさなければならないし、見やすい検索の仕方も探られていいのではないかという話があった。

今、市のホームページに関しても、情報に関して言えば、なかなか知りたい情報に、すぐたどり着くことができないと、どうも使い勝手がいま一つなので、そういったこと、情報のシステム全体に関して、さらにもっと検討が今後必要になっていくのではないか。今は市の企画財政部が市の電算担当だが、こういった担当の方にも、ぜひ市民の検索に当たって使いにくい部分だとか、生の声を聞いていただくのがいいと思う。

こうした情報の部分では、貫井北町にできるセンターが、新しくITルームというところで、パソコンを使って、いろんな情報が検索できるということなので、それを新しい試みとして注目していきたい。できれば、そういったシステムがさらに拡大していくのがいいという話である。

では、人材に関するネットワークの部分であるが、これは情報のネットワークをきちんとつくる部署、セクションを新しくつくってもらえたらいい。今あるセクションでもいいし、新設するような形でも、その辺のところ意識を持っていただけたらと思う。

よその地域では、社会教育の拠点が、社会教育会館とか、生涯学習センターがあるが、小金井市にはそれがないので、そういったことも長期的には、予算の裏づけも必要になるが、考えていけば、いろんな面で人的なネットワークの拠点ができるのではないかという意見があった。

さらに、具体的な今後の人的ネットワークの構築の方法として、みんなでいろいろと書いたところでは、この三者合同会議に市議会議員の人にも加わってもらおうとか、さらに、この会議を重ねていく、社会教育関係団体が広く参加できるような会議にしていく。今、Bグループからもあったが。生涯学習のイベントを立ち上げて、広く宣伝活動していく。小・中学校の父母の会、PTAなどを巻き込んで、生涯教育についての

宣伝を続けていくという意見が出た。以上である。

(5) 意見・要望・感想等

本川議長

ありがとう。

それぞれのところで、いろんなご意見が出たが、具体的に見えるようなものも幾つか含まれていたような気がする。今後、どんなふうに三者で考えていけるかというようなことも含めて、ご感想、ご意見、ご要望など伺いたいと思う。どなたかご意見のある方。こういうところを強調してみたいと思われる方も。

新井さん。

新井委員

1つ聞くが、参加していて、メンバーで、こういうのを知らないというのもどうなのかもしれない。この三者協議会というのは、今回、三者合同会議に名前が変わったが、この会合というか、この催しは今後公式に続くのか、どうなのか。会長に聞くのは質問の相手かどうかわからないが、続けることになるのか、我々が勝手に続けることを決めるのか、どこかで決まっていて、またいつか、半年後にあるのか、その辺はどうなっているのか。

本川議長

事務局のほう把握していると思うので。

事務局（林）

これまでも、三者懇談会という形で実施していたものなのであるが、今回から三者合同会議という形で、正式な会議の位置づけになった。基本的には継続するというご理解いただければと思う。

本川議長

前年度までは懇談会だったのである。自主的に三者で集まって情報交換しようということで継続していた。今期になって、それぞれの会の1回を、本会議の1回として充てて、会議という形とした。今までは自主的な会だったが、今回は会議の形にしようということである。それぞれの会が1回減っているのではないかと思う。調整はしていると思うのであるが、そんなような考え方である。今回初めて会議という形式でさせていただいたということである。

それでいいのか。

新井委員

はい。では、形としては、非常にわかりやすく言えば、オフィシャルになっているということか。

本川議長

はい。そういうことである。

来年度は、1回はまだ懇談会なのか。

事務局（林）

基本的には1回会議として開催するという見通しは立っているが、懇談会については、この場では即答することができない。申しわけない。

本川議長

ということである。

ほかに何かご質問、ご意見はあるか。何でも結構である。

では、今の懇談会であろうか。来期に向けて、会議は1回予定されている。懇談会についてはご意見があるだろうか。

新井委員

今のお話なのであるが、結局、これだけ20人以上の方たちが集まって、グループで報告もして、一応、今日は終わったのであるが、これはどうやって、先に形というか、実行というのか、形にまとめていくのかと。要するに、言いつ放し、聞きつ放しだったらもったいないということがあるではないか。それで、一々これだけの方たちが集まるのはあれなので、それぞれの三者の代表者の方にボランティアで集まっていたいて、これからどう進めるかということをやはりまとめていただきたいと個人的に思っている。そうしないと、せっかく貴重なお話がそれぞれ出ているのに、出っ放しで終わるのではないかということが、ちょっと残念なので、それをまたみんなが集まってどうするかというと、また大変なので、それぞれ公民館なり図書館なり社会教育委員から1人代表が出て、申しわけないけれども、出ていただいた方には、ボランティアで、これからどうするかというのを少しまとめていただくということをやっしてほしいと思うのである。

これは意見なので、皆さんが反対ならそれで終わりであるし、ご賛同あれば、そういうふうにしていただけたらいいかなと思う。

本川議長

ありがとう。そういうご意見を今ちょうだいした。大変ありがたいことである。今日は松尾先生がお休みなので、その件についてはご相談させていただくが、皆様のご要望がそういうことで、大多数のご賛同をいただければ、それは代表者だけがいいのか、もう一人二人加わっていただいたほうがいいのか、後ほど話し合いをさせていただきたいとは思っているが、公民館の大橋さん、いかがであろうか。今のご意見に対して。

大橋委員

代表者はいいのであるが、皆さんが集まる懇談会でもいいのではないかと思う。顔を合わせるだけでもいいのかと。すると、具体的に何をやっていくかということになるのであるが、集まるだけでも価値があるところもある。どんな人がいるかということを知らないというものもある。だから、私は今年と同じように2回やって、こちらの会議でも。その前の打ち合わせは代表者がやってくれるということでもいいかと思う。

本川議長

そういうご意見である。

ほかに何かあるか。

代表者の事前打ち合わせというのも、今回から初めてやったことなのである。今回も少しテーマを決めるため相談の結果、こういうことにはさせていただいたのであるが、回を重ねると、少しずつはまとまってくるかなというのは、思っている。今ご意見が出たので、今年度中の何かということであれば、いただいていることというのは、少し考えさせていただくということは事務局としては可能であるか。

事務局（林）

はい。それは代表者の予定と、あと会議室がとれれば、基本的には問題ないかと思う。

本川議長 何かご意見あるだろうか。皆様、それぞれお忙しい方たちなので、なかなかお時間をとっていただくのが大変だとは思いますが。  
村谷委員。

村谷委員 年度内にもう一度開く。今日の結論からいって、三者でせっかくやっているのだから、もう少し結論めいたものをというところまで来たので、もう一度開いて、来年度に向けて、いかにあるべきかという姿を世間にアピールする必要があると思う。  
以上である。

本川議長 社会教育委員の会議では、小委員会が、本会議と別に年5回設定して、このことについて、かなり突っ込んだところで話している。勉強会をしているというふうに考えていただくほうがいいかもしれない。いろんなところの情報も、あそこではこんなことをやっている。では、見に行ってみようかとか、そんなようなことも考えながらしてはいる。もちろん本会議と連動していて、いろんなことをしながら、何とか少し見えるような形に持っていきたいということは考えている。そのためには、ほんとうに同じ社会教育分野である図書館、公民館の皆様方にも相談に乗っていただいてというのが思っている。どうぞよろしくご協力いただきたいと思っている。

こうやって顔を合わせて、それぞれの思い、それぞれがそれぞれのところで思っているいろんなことを吐露しながら共有できると大変ありがたいという感じはしている。

なので、大橋さん、代表者でお話しする必要はあるかと思う。時間をつくっていただいて、図書館のほうと考えさせていただければと思う。

大橋委員 そのためには今日のまとめが必要である。

事務局（林） では、年内に三者合同会議のまとめを作成する。

本川議長 では、年内に一度代表者で打合せをして、来年度以降のこともその場で話し合うということでいいだろうか。  
それでは、平成22年度第1回三者合同会議を終了する。

以上